

遊空間

遊ぶ 白神 学ぶ

永井雄人

～10・完～

冬の白神山地に入れるの？と聞かれる機会が多い。白神の里、鱒ヶ沢町の一ツ森地区の白神自然学校は、冬の自然体験塾を開催している。大人も子どもも冬の雪山を楽しむ。例えば大人の場合、スノーシューを履いて赤石溪流のブナ林の散策を楽しむことができる。途中、植物の冬芽の観察をしたり、大きなブナの老木の根周りには、クマガイアオゲラの採餌痕跡があり、破材がいつぱい落ちていた。

べ方で食してみる。売っている餅とは違う軟らかさに、何個も食べる子もいる。
この地区はほとんどの農家が田んぼを作っている。一面銀世界の田んぼの上をスノーモービルで走ってみる。なかなか普段はしたことのない雪上バイクに感動する。スノーシューを履いて田んぼの上を歩き回り、田んぼアートではないが、

冬の白神の楽しみ方

スノーシューで散策



スノーシューを履いて田んぼの上で寝そべる体験

至福の時間である。都会ではほぼ食べたことがない。終わりにしたい。季節

にかかわらず、身体が自然とそうさせるのだろう。最後に、鱒ヶ沢町には大きなスキー場もあり、満喫できる。滑れない子どもも、滑れて都会に戻ると必ずリピーターになる。すごいことだ。今

この時期の森は鳥の姿がよく見える時期である。どんな鳥が、どんな鳴き声で飛んでいるかがよく分かる。動物の足跡もよく分かる。そんな森の動物たちの動きが分かるのも冬山の面白さである。途中、ご飯を食べな

どんな模様をつくるか事前に話をし、歩き回ると面白い模様が出来上がる。高台から見ると、とても感動する。大人同様、冬芽探しや動物の足跡探しなども行う。

い漬物がおいしいみたいだ。何がそうさせるのかと思うが、やはり白神山地は子どもたちにとって非日常なんだろう。自分が自然と共に生かされていることや、自然と共存した暮らしに自然と慣れ親しんでいくのだろう。自分が思うと思わないと

節で少しであるが、旬の彩りを体感できる場所が白神山地ではないかと思う。特に静寂で空気が凍っている冬の白神山地が私は大好きです。一番の癒やしです。
(NPO法人白神自然学校一ツ森校長 永井雄人)



スノーシューで雪の白神を散策



スノーモービルに乗り雪原を疾走する子ども



スノーシューを履く参加者